独立行政法人国立病院機構

編集：南京都病院広報委員会

南京都病院ニュース

2021 春号
No.62

National Hospital Organization Minami Kyoto Hospital News

当院呼吸器センター外科部門のご紹介

呼吸器センター　外科部門　大塩　麻友美

当院呼吸器センター外科部門では、肺がん、自然気胸、縦隔腫瘍などの手術を主に行っています。2018 年 4 月より常勤医は私一人の体制となりましたが、滋賀医科大学呼吸器外科学講座の全面協力のもと、患者さんへの負担の少ない胸腔鏡下手術を積極的に行っています。

肺がん患者さんに対しては、胸の横に約 4cm の切開創と小さな穴 2 か所を開けて、ビデオスコープの画面を見て手術をする完全胸腔鏡下肺葉切除術と肺区域切除術を積極的に行っています。術後の痛みが軽くなり、また、傷が小さいことにより高齢の患者さんの回復が早くなっています。最近では肺がん症例の約 8 割に胸腔鏡下手術を行っています。

また、縦隔腫瘍に対しても、積極的に胸腔鏡下手術を行っています。胸の横に約 1 ～ 2cm の小さな穴を 3 か所開けるだけであり、術後の回復も早く、1 週間程度での退院が可能となっています。

慢性呼吸不全や神経難病、重症心身障がい児（者）の専門医療機関である当院の特徴として、当科では手や足からの点滴が困難となった患者さんに対して、埋め込み型の中心静脈カテーテル留置も積極的に行っています。体の太い血管（鎖骨下静脈、内頚静脈、大腿静脈など）にカテーテルを留置し、皮膚の下にポート（針を刺すところ）を埋め込むという処置です。長期の使用が可能であり、針を抜けば、入浴も可能なため、退院後も使用できます。

当院は診療科も限られていますが、その分他科との風通しもよく、密接な連携をとりやすい環境にあります。特に呼吸器センターは内科、外科の垣根なく常に連携し、病院理念である「分かりやすく、安全で、安心して受けられる、質の高い医療」を目指して日々精進しております。

「健診レントゲンで異常を指摘された」「急に胸が痛くて、息が苦しい」など呼吸器外科に関するお問い合わせやご質問等ございましたら、お気軽に当院呼吸器センター外科部門までご相談下さい。

転倒転落防止の取り組み

医療安全管理係長　寺倉　智子

入院生活をする病院の環境は、それまで住み慣れた生活環境とは異なり、病気や環境の変化と体力や運動機能の低下により、思いがけない転倒･転落事故が起こることが少なくありません。当院では、医師、看護師、理学療法士、薬剤師等の多職種による転倒転落チームを立ち上げ、入院生活を安全に安心して送っていただけるように転倒転落防止活動を行っています。

当院における令和元年度の転倒転落件数は、176 件発生しています。年齢別にみると 70 歳以上の方の割合が､82％占めています。(図 1 参照) 転倒が発生している場所は､ベッドサイドが 64％です。(図 2 参照) 転倒を防止するためには、ベッドサイドを含めた環境調整が必要であるとわかります。

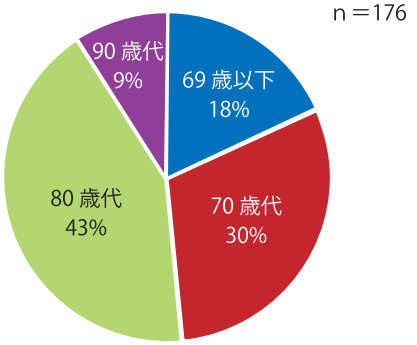

図 1　令和元年度　転倒転落発生年齢別割合

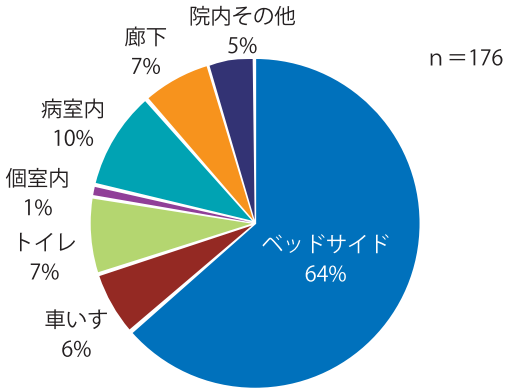

図 2　令和元年度　転倒発生場所

そこで、転倒転落チームが、転倒リスクにつながる危険なものがないか、転倒リスクのあるスリッパなどを履いていないかどうか“環境ラウンド”を行い確認しました。(写真 1 参照) その結果、廊下にワゴンやベッドなど不要なものが置いてあったこと、4 人部屋の洗面所のそばに、感染性のごみ箱が置いてあったこと (写真 2 参照)、スリッパは履いていなかったが、靴のかかとを踏んで歩いていた患者さんが数名いたことが分かりました。この結果については、院内の医療安全会議にて職場長に説明し、転倒リスクにつながる危険なものの整理整頓や履物のはき方の確認等の注意喚起を行いました。

また、当院では、酸素カートを使用する呼吸器疾患の患者さんも多く入院生活を送っています。歩行時に酸素カートごと倒れると、重大な怪我につながることもあります。少しでも危険なリスクを減らし、当院を利用される患者さん、ご家族が安心して過ごしていただけるように、今後も取り組みたいと思います。患者さんご家族におかれましては、スリッパやクロックスタイプ履物は、転倒リスクが高くなりますので、入院時は、踵のある靴を持ってきてもらうようにご協力お願いいたします。

写真 1：転倒転落チームによる環境ラウンドの様子

写真 2：ラウンドで指摘した洗面所の様子

新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の検査について

臨床検査科　副臨床検査技師長　三村　拓郎

コロナウイルスは多くの動物に感染する RNA ウイルスで、ヒトの風邪の原因ウイルスとして知られています。1966 年に電子顕微鏡によってその形態が初めて明らかにされ、冠に形が似ることよりラテン語の「coronam ／王冠」から命名されました。分子疫学的には 12 ～ 13 世紀頃には人類に感染していたと考えられ、当時は高い頻度でヒトを死に至らしめる恐ろしい感染症であったと推測されています。その後、長い時を経てヒトの免疫力とウイルスが持つ毒性のバランスが取られ、近年までには比較的付き合いやすい病原体の一つとなり、一般の方々にはほとんど知られていませんでした。ところが 2002 年に発生した重症急性呼吸器症候群（SARS）や 2012 年の中東呼吸器症候群（MERS）の原因となる変異を起こし、一昨年から世間を騒がせている所謂、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大で一気に多くの人に知られることとなりました。

一口に新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の検査と言いましても、大まかにウイルス自体を検出する検査とウイルスが感染している（或いは過去に感染していた）証拠を見つける検査に分けることが出来ます。前者が PCR 検査やウイルス抗原検出検査であり、後者が抗体検出検査です。下の表に主な特徴をまとめました。この病気に限らず、正確な診断をする為には画像診断や問診による情報を総合的に判断する必要があります。

現在、政府によって医療従事者に対するワクチン接種事業が推進されているところです。この効果がある程度行き渡ればこの新型コロナ騒動も終息に向けて動き出すと考えています。今は一日も早くその日が迎えられればと祈るばかりです。

<table>
<tr><td>検査法</td><td>PCR 法</td><td colspan="2">抗原検出検査</td><td>抗体検出検査</td></tr>
<tr><td>検出
対象</td><td>ウイルス RNA</td><td colspan="2">ウイルス構成蛋白</td><td>ヒトの体の中で造られた抗体</td></tr>
<tr><td rowspan="2">特徴</td><td rowspan="2">感度精度が最も良い
専用の機器が必要
検査に要する時間が長い
検査実施に熟練を要する</td><td>抗原定量検査</td><td>抗原定性検査</td><td rowspan="2">感度精度がやや低い
短時間で結果が出る
測定機器を必要としない
非特異反応が起こる</td></tr>
<tr><td>比較的感度精度が良い
汎用機で測定出来る
比較的短時間で結果が出る</td><td>感度精度がやや低い
短時間で結果が出る
測定機器を必要としない
検査実施が容易</td></tr>
<tr><td>目的</td><td colspan="3">ウイルスの本体を見つける</td><td>ウイルス感染の証拠 (痕跡) を見つける</td></tr>
<tr><td>結果の
解釈</td><td colspan="3">PCR 法陽性であれば採取された検体中にウイルスの存在が証明される
抗原定量検査陽性で稀に新型コロナ以外のコロナウイルスによる反応の場合がある
抗原定性検査では定量検査よりさらに結果が不安定で解釈が困難なことが多い</td><td>抗体陽性 = 感染防御免疫獲得ではない
非特異的な反応がある</td></tr>
</table>

地域医療に力を傾けておられるみなさまをご紹介いたします

誠実さとユーモアで地域に信頼されるクリニックを目指します

やえクリニック

内科　糖尿病内科　認知症科

院長　中嶋 弥恵 先生

2020 年 10 月に宇治市神明で新規開業させていただきました。私はおうばく病院で 15 年間認知症を合併した様々な内科疾患患者さんを見てきました。私のクリニックでは糖尿病や高血圧といった生活習慣病の治療だけにとどまらず、抗認知症薬をはじめとした精神科治療と認知症患者さん周囲のケア方法を含めた環境整備指導に積極的に取り組みます。認知症は薬よりも日常のケアの方法で大きく改善する場合があるためです。そして可能ならば将来自宅で亡くなる時、そばで看取ってさしあげられる地域の身近なかかりつけ医になりたいと思っています。わかりやすい説明と的確な診断、そしていつも笑いを忘れないクリニックを目指します。どうぞよろしくお願いいたします。

■ 京都府宇治市神明宮東14-1
宇治神明ビル1F
■ TEL　0774−20−2900
FAX　0774−20−2907

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前9:00〜12:00	●	●	／	●	●	○	／
午後14:00〜17:00	／	▲	／	／	／	／	／
夜診16:00〜19:00	●	／	／	●	●	／	／

■ 火曜午後はもの忘れ・認知症相談外来（予約診）
■ 土曜のみ9時〜13時まで診察
■ 水曜午前はおうばく病院で外来勤務、午後は往診をしております。月・木・金曜の13時〜16時は在宅診療

自然（じねん＝あるがまま）なるがまま自分らしく生きる為の看護

訪問看護事業所　舞風

訪問看護

■ 宇治市木幡南山80番地11，12合地
■ TEL　0774−74−8148
■ FAX　0774−74−8149
■ 営業日：月曜日〜金曜日
（24時間365日対応可能）
■ 営業時間：9：00〜16：30
（時間外も対応可能）
■ 訪問エリア
（宇治市、久御山、城陽、京都府伏見区それ以外の地域でも対応可能）

皆様、こんにちは。
一般社団法人　自然堂（じねんどう）と申します。
私共、自然堂は 2017 年 11 月に一般社団法人として宇治の木幡に創立させて頂き 2018 年に障害の訪問介護事業所：松風（まつかぜ）、相談支援事業所：雪風（ゆきかぜ）介護の訪問介護事業所：萩風（はぎかぜ）、居宅介護支援事業所：涼風（すずかぜ）同月 12 月に地域移行・地域定着・自立生活援助事業所：野風（のかぜ）の認可を頂き、本年 2021 年 1 月 22 日に訪問看護：舞風（まいかぜ）の認可を頂きました。これで地域移行・地域定着・自立生活援助から相談支援、ケアマネ、現場の介護から居宅看護まで一貫したご自宅でのトータルサポートが可能となりました。
あと、会社の理念なんて大げさな物かどうかは分かりませんが、【人間として障害者も健常者も無い。全ては個性として自然なるがままに生きていく。】【人は生まれを選ぶことは出来ないけれど、生き様・死に方を選ぶことは出来る。】この様に考えて、日々支援をさせて頂いております。
今回は訪問看護事業所：舞風のお話をさせて頂きます。
これまでの総合病院やクリニックでの経験を活かし、呼吸器やカテーテル等の取扱いや、ストマ（腸ろう・人工肛門）・創傷部（今後、皮膚・排泄ケアの認定看護師の雇用や既存雇用している看護師の育成を検討中）や精神科、知的障害者施設の勤務経験のある看護師等、その方の特性に沿いつつ、総合病院のようにどの科にでも対応できるようにしております。
もし、ご自身やご家族が《最期の大切な時間を御自宅で……。》等のお望みがあるのであれば、ターミナルケア（終末期ケア）をさせて頂き、ご希望を叶えるお手伝いもさせて頂きます。
また、訪問看護以外にも障害者の方の相談支援事業等もおこなっておりますので、もし『これはどうなんだろう?』等の不明な事がありましたら、ご遠慮なくお電話頂ければ、お力になれることがあると思います。
ぜひ、お気軽にご連絡頂ければ幸いです。

西５階病棟紹介

看護師長　濱村　恵子

保健所と病院の連携会議風景

２重ドアの向こうが結核ユニットです

西病棟５階は一般病床 40 床と結核ユニット 20 床の病棟です。

一般病床では、呼吸器疾患の患者さんを中心に、消化器外科、小児科、脳神経内科と様々な診療科、そして小児や成人期・老年期など幅広い年代の患者さんが入院されています。

入院時は入院支援センターと連携し、患者さんが安心して検査や手術、内科的治療を受けられるよう看護を行っています。呼吸器系のがん患者さんに関しても手術療法、化学療法、症状緩和、終末期と病期に合わせ、患者さんの希望を大切にしながら生活の質にも目を向けた看護を行っています。
また入院早期から栄養サポートチームの介入や、地域連携室や多職種と連携し積極的に退院支援にも取り組んでいます。

結核ユニットにおいては、コロナ禍で京都府下の感染症病床にコロナ陽性患者さんの受け入れを円滑にするために、ユニット病床を増床し当院で京都府下の結核患者さんを一手に引き受けています。

結核治療は退院後も継続して内服を続けることで治療完遂を目指しています。そのため保健所との連携を密にし、結核の予防、撲滅に向けて取り組んでいます。近年外国籍の患者さんも多く、多言語対応の通訳機を使用しコミュニケーションを図っています。

今後も病院内そして地域の多職種の方々と連携を図りながら、常に患者さんの立場に立った看護を実践していきたいと思っています。

明るく元気な看護師が、
患者さんが安心して入院生活を
送れるよう看護しています！

新採用職員紹介

教育担当看護師長　山浦　新太郎

令和3年4月1日に辞令を受け、南京都病院の新メンバーとして入職しました。4月1日から3日間の新採用者研修に参加し、国立病院機構の概要や南京都病院の紹介、社会人としての基本的なマナー・接遇、コンプライアンスについてなど、南京都病院で働くための基本を学びました。南京都病院の職員として一刻も早く職場環境に慣れ、南京都病院の理念である「分かりやすく、安全で安心して受けられる質の高い医療を提供できる」ように努力してまいります。どうぞよろしくお願いします。

交通のご案内

- 近鉄京都線　新田辺から
- JR 学研都市線　京田辺から
- JR 奈良線　山城青谷から

京阪宇治バス約15 分
徒歩 20 分

＊…各駅より送迎車あり

診療科のご案内

- 内科
- 消化器内科
- 外科
- 皮膚科（入院のみ）
- 心療内科（入院のみ）
- 脳神経内科
- 循環器内科
- 整形外科
- リハビリテーション科
- 歯科（入院のみ）
- 呼吸器内科
- 小児科
- 呼吸器外科
- 放射線科

独立行政法人国立病院機構
南京都病院

（当院は在宅療養あんしん病院に登録しています。詳しくはかかりつけ医にご相談ください）
〒610-0113　城陽市中芦原 11 番地
TEL.0774-52-0065　FAX.0774-55-2765
時間外緊急時　0774-52-0642
URL　https://minamikyoto.hosp.go.jp/

地域医療連携室

電話受付時間の延長について
平成 30 年 12 月 1 日から、申し込み受付を 19 時まで延長させて頂きます。
電話受付時間
8：30～19：00　月～金（土・日・祝日休み）
TEL：0774−52−0191（直通）
0774−52−0065（代表）
FAX：0774−58−0270
予約状況を確認し、その場で受診日時をお返事いたします。
なお、お時間を要する場合は折り返しお返事させていただきますので、ご了承下さい。
E-mail：407-renkei@mail.hosp.go.jp